

あいさつ運動ニュース

NO.70(6・7月号)

平成30年7月1日

明日香村教育委員会

(文責 教育文化課 下住)

自ら進んであいさつをする子が80%をこえました!



「自ら進んであいさつする子100%」を目標にあいさつ運動を推進していますが、運動を始める前(平成24年7月)の調査では44.8%だったようです。

運動を始めて4ヶ月後(平成24年12月)は54.1%、7ヶ月(平成25年12月)には73.4%に伸びたようです。ところが、平成27年度までは「75%の壁」、平成29年度までは「80%の壁」が大きく立ちはだかり、思うようには伸びてくれませんでした。ところが、平成30年3月末の調査では、ついに80.2%になったのです。運動を始めて6年目にして始めて、80%を超えることができました。

□ 子どもたちがずいぶん変わってきたよ

子どもたちの様子がずいぶん変わってきたという声を、よく耳にするようになってきました。

「観光で訪れている外国の人と、自転車から降りてあいさつをする中学生の姿を見た。」や、「遠足に来た他の学校の子どもたちにくらべ、これまであいさつをあまりしなかった明日香の子が、同じように元気にあいさつをするようになった。」とも聞きました。

やはり、地道な取り組みにより、子どもたちの意識が高まってきたと思います。



□ “自立した明日香の子の育成”の根底に

ただ、「あいさつ」とは心の問題であり「100%を達成すること」を目標にすることは果たしてどうだろうか、と疑問を感じる方もおられます。また、「校門近くではあいさつをするが、家の近くではない。」などの話も聞きました。

私たちは、「自ら進んであいさつをする子100%の達成」を、“自立した明日香の子の育成”の根底に位置づけています。これは、「自ら進んであいさつをする姿」に、積極性や社会性、そして自立性があると考えるからです。たくましく育

ってほしいという願いを、「自ら進んであいさつする子100%達成」というスローガンに込め、決して形ではなく“心を育てている”ことを忘れずに、これからも取り組みたいと思います。

